



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場会社名 株式会社正興電機製作所
 コード番号 6653 URL <http://www.seiko-denki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福重 康行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉 (TEL) 092-473-8831
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月4日 配当支払開始予定日 平成26年8月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	8,481	△0.8	177	98.4	151	△11.9	101	△36.3
25年12月期第2四半期	8,550	13.6	89	16.5	171	77.9	158	425.1

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 218百万円(△4.0%) 25年12月期第2四半期 227百万円(335.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	8.57	—
25年12月期第2四半期	13.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	14,358	5,458	38.0
25年12月期	14,756	5,308	36.0

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 5,458百万円 25年12月期 5,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年12月期	—	5.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	7.6	500	86.9	450	19.3	350	2.7	29.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	11,953,695株	25年12月期	11,953,695株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	147,303株	25年12月期	121,951株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	11,820,064株	25年12月期2Q	11,832,136株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注意事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策への期待感や、日銀による金融緩和政策を背景に、企業収益の改善、設備投資の回復、雇用環境改善の動きが見られ、全体として緩やかな景気回復基調を維持しました。しかしながら、世界経済につきましては、中国をはじめとする新興国の成長鈍化への懸念、並びにウクライナや東アジアの情勢不安等、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画（CHALLENGE SEIKO IC2014）の基本方針である『グループ総合力を発揮できる経営基盤を構築し、社会インフラ事業を中核とした高収益企業への変革を目指す』のもと、厳しい外部環境にも耐えうる経営基盤の構築を加速させるため3つの戦略（①事業戦略の推進 ②コスト構造改革 ③組織構造改革）を柱とした三位一体の構造改革に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は9,896百万円（前年同期比 22.1%増）、売上高は8,481百万円（同 0.8%減）となりました。

損益につきましては、営業利益は177百万円（同 98.4%増）、経常利益は151百万円（同 11.9%減）、四半期純利益は101百万円（同 36.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(電力部門)

リプレース・メンテナンス市場に注力してまいりましたが、電力会社の設備投資抑制などの影響により低調に推移し、受注高は 1,744 百万円（前年同期比 2.8%減）、売上高は 2,092 百万円（同 22.4%減）となりました。

(環境エネルギー部門)

環境・省エネ関連や道路設備向け受配電システム等が堅調に推移し、受注高は 6,385 百万円（前年同期比 41.1%増）、売上高は4,931 百万円（同 16.6%増）となりました。

(情報部門)

受託開発やASPサービス関連は堅調に推移いたしましたが、港湾関連システムの取込み遅れにより、受注高は 546 百万円（前年同期比 7.4%減）、売上高は 460 百万円（同 11.4%増）となりました。

(その他)

産業関連の設備投資の抑制や厳しい価格競争が続く中、サービス部門において環境・省エネ設備関連に注力してまいりました結果、受注高は 1,220 百万円（前年同期比 2.0%増）、売上高は 997 百万円（同 17.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間の流動資産の残高は、前連結会計年度と比較して 585 百万円減少の 9,145 百万円となりました。これは主に、現金及び預金が 1,023 百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が 2,123 百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間の固定資産の残高は、前連結会計年度と比較して188百万円増加の5,213百万円となりました。これは主に、投資有価証券が時価の上昇等により171百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間の流動負債の残高は、前連結会計年度と比較して618百万円減少の6,450百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が515百万円増加したものの、短期借入金が1,771百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間の固定負債の残高は、前連結会計年度と比較して72百万円増加の2,450百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産の残高は、前連結会計年度と比較して149百万円増加の5,458百万円となりました。これは主に、利益剰余金が四半期純利益の計上等により42百万円増加したことやその他有価証券評価差額金が時価の上昇により100百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月19日に発表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成26年7月30日)別途開示しております「平成26年12月期 第2四半期(累計)期間の連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,389	2,412
受取手形及び売掛金	6,553	4,430
有価証券	70	112
商品及び製品	153	214
仕掛品	1,102	1,401
原材料	246	274
その他	235	308
貸倒引当金	△21	△10
流動資産合計	9,731	9,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,455	2,394
その他(純額)	788	796
有形固定資産合計	3,244	3,190
無形固定資産	164	240
投資その他の資産		
投資有価証券	1,539	1,710
その他	77	73
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,615	1,782
固定資産合計	5,024	5,213
資産合計	14,756	14,358
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,022	3,538
短期借入金	3,053	1,281
未払法人税等	50	52
工事損失引当金	4	10
その他	938	1,568
流動負債合計	7,069	6,450
固定負債		
長期借入金	356	321
退職給付引当金	1,758	1,805
その他	262	323
固定負債合計	2,377	2,450
負債合計	9,447	8,900

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323	2,323
資本剰余金	1,640	1,640
利益剰余金	1,287	1,329
自己株式	△52	△62
株主資本合計	5,198	5,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	196	297
為替換算調整勘定	△86	△69
その他の包括利益累計額合計	110	227
純資産合計	5,308	5,458
負債純資産合計	14,756	14,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,550	8,481
売上原価	7,198	7,108
売上総利益	1,351	1,373
販売費及び一般管理費	1,262	1,195
営業利益	89	177
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	12
受取賃貸料	5	5
為替差益	77	-
貸倒引当金戻入額	8	11
その他	12	7
営業外収益合計	114	37
営業外費用		
支払利息	21	18
為替差損	-	28
その他	10	16
営業外費用合計	31	63
経常利益	171	151
特別損失		
会員権評価損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	171	151
法人税、住民税及び事業税	13	47
法人税等調整額	△1	2
法人税等合計	12	50
少数株主損益調整前四半期純利益	158	101
四半期純利益	158	101

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	158	101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	100
為替換算調整勘定	△42	16
その他の包括利益合計	68	117
四半期包括利益	227	218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227	218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注意事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力 部門	環境エネ ルギー部 門	情報 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,695	4,229	413	7,338	1,212	8,550	—	8,550
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	98	104	368	472	△472	—
計	2,695	4,234	512	7,442	1,580	9,023	△472	8,550
セグメント利益	0	60	21	82	6	89	—	89

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液
品)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力 部門	環境エネ ルギー部 門	情報 部門	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,092	4,931	460	7,484	997	8,481	—	8,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	147	207	355	689	1,044	△1,044	—
計	2,092	5,078	668	7,839	1,686	9,526	△1,044	8,481
セグメント利益	28	110	32	172	5	177	—	177

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液
品)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。